

状況に応じて避難しましょう！

【保存版】

基本的な考え方

避難のために外出する方が、むしろ危険な場合もあります。

町から避難情報が発令された場合、避難所へ避難するか、屋内の比較的安全な場所（2階等）にとどまるなど、状況に応じて自ら判断し、命を守るために行動をとることが基本です。

自分の命は
自分で守ろう！

【浸水の深さ】

1m～2mまでの浸水

- 1階軒下までかかる程度

【判断】

少なくとも

【どこへ】

自宅の2階もしくは
危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上へ移動
- 垂直避難



0.5m～1mまでの浸水

- 床上浸水
- 大人の腰までかかる程度

0.5m未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

必ず

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保

避難情報に注意しましょう！

災害が発生し、または発生するおそれがある場合、災害対策基本法に基づき町長から避難勧告等が出されます。避難勧告等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要があります。

なお、突発的な災害では、避難勧告等の発令が間に合わないこともあります。避難勧告等が発令されなくても、危険を感じたら避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

避難準備・高齢者等避難開始

避難の準備を始めましょう！

お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は、避難を開始してください。その他の方は避難の準備を整えてください。

避難勧告

避難を始めましょう！

すみやかに避難を開始してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

避難指示（緊急）

ただちに避難してください！

指示を受けた方は、ただちに避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

避難情報は、テレビ・ラジオ等を通じて
町民のみなさんに伝えられます。



- ・地域防災無線
- ・広報車・サイレン
- ・携帯電話緊急速報メール
- ・町のホームページなど

小山町経済建設部農林課

〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2

電話 0550-76-6121

RESERVOIR HAZARD MAP OF OYAMA TOWN

小山町ため池ハザードマップ

棚頭用水池
たながしらようすいち



ため池ハザードマップとは…

一定の条件を想定して、ため池が決壊した場合の予測される浸水の範囲と深さを地図に示したものです。

全国のため池の多くは老朽化が進み、近年、局地的大雨や大規模な地震などによる被害が各地で発生しています。また、過疎化や高齢化が進み、ため池の適切な管理や、緊急時の情報伝達が的確に行われない懸念が生じています。

ため池が決壊する恐れのある場合、または決壊した場合に、人命を守り、被害を最小限にするための参考資料として、「ため池ハザードマップ」を作成しています。

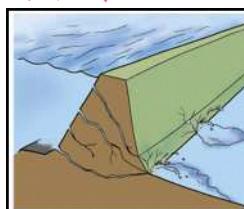
ため池はどのようなときに決壊するのでしょうか？

大雨のとき



大雨のとき、ため池の水位が上昇し、堤防を越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。流木が洪水吐の断面をふさぐと、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の可能性は一層高くなります。

大地震のとき



大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液化により決壊する可能性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に至ることがあるので注意が必要です。

※大規模な地震や集中豪雨・長雨のときは、ため池の決壊に備える必要があります。
必要に応じて早めの避難が必要となります。

日ごろから避難の準備をしましょう！

STEP1



STEP2



STEP3

ハザードマップを見てあなたの家をさがし、周辺の浸水箇所や土砂災害の危険箇所などの状況を確認して、地図に記入しましょう。



あなたの家の避難場所と避難経路を決めましょう。



あなたが地図上で決めた避難経路を実際に歩いて、安全であるか確認しましょう。避難時の危険箇所を確認しましょう。

